

フル・オーケストラをバックにしたソリストたちの華麗なる技巧、豊潤な美音を思う存分に味わう!

華麗なるコンチェルト・シリーズ

全4回【2017シーズン】 全公演会場：横浜みなとみらいホール

【第1回】

巨星と新星、馥郁たる響き
堤 剛

2017

4/16 (日)午後2時

モーツァルト:交響曲第32番 ト長調 K.318 (管弦楽のみ)

ハイドン:
チェロ協奏曲第2番 ニ長調 Hob.VIIb:2

ブラームス:
ヴァイオリンとチェロのための
二重協奏曲 イ短調 op.102 ★

堤 剛(チェロ) / 山根一仁(ヴァイオリン)★
角田鋼亮(指揮) / 神奈川フィルハーモニー管弦楽団



山根一仁

長年にわたる不断の努力に裏付けられた技術、そして常に精魂込めて歌い上げるその情熱的チェロで、後進の音楽家が進むべき道を切り開いてきた堤剛は、まさにバイオニア的存在。クラシック音楽の文化を日本に根付かせてきたこの偉大なる巨匠ほど、いよいよシリーズ化された「華麗なるコンチェルト」の記念すべき幕開けとしてふさわしい音楽家はありません。気品に溢れた胸いっぱいの素敵なハイドン、そして今をときめく新進気鋭のヴァイオリニスト・山根一仁と共に贈る、情熱吹き荒れるブラームス…コンチェルトの醍醐味、たっぷりどうぞ!

【第2回】

偉大なる自然への憧憬
千住 真理子

8/27 (日)午後2時

folkman:弦楽セレナード第2番 (弦楽のみ)

千住 明:
ヴァイオリンとストリングスのための「四季」
ヴァイオリン協奏曲「リターン・トゥザ・フォレスト」
ブラームス:
ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op.77

千住真理子(ヴァイオリン)
柴田真郁(指揮) / 神奈川フィルハーモニー管弦楽団



©Kiyotaka Saito(SCOPE)

今か今かとお待ちの方も多かったでしょう!千住真理子のブラームス、ついにここ横浜で実現です!御年30歳を超えるストラディヴァリウスの名器「デュランティ」との運命的出会いから早15年、まさに楽器と一心同体となった千住真理子で、ヴァイオリン史上もっともシンフォニックな大曲を聴く…この贅沢は何にも変えられないでしょう。そしてオーストリア南部のヴェルター湖畔・ペルチャッハの美しい自然に囲まれた中生まれたこの名作のカプリングに千住が選んだのは、兄・明がやはり自然をテーマに書き上げた2作品。なんと心憎い選曲!芸術界の名家、千住家の華麗なる世界も垣間見られる公演です。

【第3回】

問答無用の2大協奏曲!
前橋 汀子

11/19 (日)午後2時

ベートーヴェン
「プロメテウスの創造物」序曲 (管弦楽のみ)

メンデルスゾーン:
ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64

ベートーヴェン:
ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品61

前橋汀子(ヴァイオリン)
角田鋼亮(指揮) / 神奈川フィルハーモニー管弦楽団



©藤山紀信

旧ソ連に日本人初の音楽留学生として旅立ったのは、横浜港から。演奏活動50周年でリサイタル&コンチェルトの2大企画を弾きあげたのも、横浜。そして未だ語り継がれる、2015年における渾身のバッハ無伴奏全曲公演も、横浜。キャリアの節目で横浜とゆかりを持つ日本屈指のヴァイオリニスト・前橋汀子が、今回はオーケストラをバックにその魂を横浜の地で再び燃やします。プログラムはロマンティズムの極致、メンデルスゾーン&人類の遺産、ベートーヴェンの両コンチェルト!ドイツを代表する問答無用の2大協奏曲で、前橋汀子の更なる境地をご体感ください!

【第4回】

素晴らしきモーツァルト!
仲道 郁代

2018

2/11 (日)午後2時

《オール・モーツァルト・プログラム》
ピアノと管弦楽のための Rond K.382
ピアノ協奏曲第20番 ニ短調 K.466
ピアノ協奏曲第23番 イ長調 K.488

仲道郁代(ピアノ)
柴田真郁(指揮) / 神奈川フィルハーモニー管弦楽団



©Kiyotaka Saito

2017シーズンを締めくくるのはご存知、仲道郁代、そしてモーツァルト!2016年にはデビュー30周年を迎え、その演奏活動は更に勢いを増し、今や日本でもっとも多忙なピアニストのひとりとして知られる仲道郁代が「華麗なるコンチェルト」に登場です。説明不要の天才作曲家をテーマに今回仲道が選んだのは、知る人ぞ知る“秘曲” Rondに、圧倒的人気曲の第20番、そして最高傑作のひとつに数えられる第23番。どこまでも美しく、ユーモアたっぷりなのに気品に満ち溢れ、そしてその響きはこの世のものとは思えないほど天上的…モーツァルトって、ほんとに素晴らしい!